

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2023年6月現在

基本情報					
フリガナ氏名	フジナガ 藤永	アヤノ 綾乃	生年	1991年	
氏名(英字)	FUJINAGA	Ayano	メールアドレス	afujinag(a)mail.doshisha.ac.jp	
学歴	2010年4月 同志社大学文学部哲学科 入学 2014年3月 同志社大学文学部哲学科 卒業 2014年4月 同志社大学大学院文学研究科哲学専攻 博士課程(前期課程)入学 2016年3月 同志社大学大学院文学研究科哲学専攻 博士課程(前期課程)修了 2016年4月 同志社大学大学院文学研究科哲学専攻 博士課程(後期課程)入学 2023年3月 同志社大学大学院文学研究科哲学専攻 博士課程(後期課程)修了				
職歴	2015年10月-2021年9月 同志社大学文学部 ティーチング・アシスタント 2023年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構および文学部 特別任用助手(有期研究員)				
指導教員	林克樹教授	取得学位	博士(哲学)	専修外国語・読解可能な外国語	独語・英語
研究活動					
研究分野	哲学・倫理学				
科研費分類による研究分野	哲学および倫理学関連				
研究テーマ	ショーペンハウアー倫理学における「他者」と「責任」——独近現代の形而上学の系譜を踏まえて——				
研究概要	19世紀ドイツの哲学者、A. ショーペンハウアー (Arthur Schopenhauer, 1788-1860) の哲学について、とりわけ彼が展開した「意志の形而上学」と「共苦の倫理学」について専門的に研究しています。ショーペンハウアーの哲学はI. カント (Immanuel Kant, 1724-1804) の超越論哲学という非常に大きな思想的背景を持ち、そこから問題意識を引き継ぐ形で展開されています。カントとショーペンハウアー、両者の思想の連関と相違に注目することで、現代に至ってなお私たち人間が直面する困難に対する、時代潮流に囚われないアプローチの可能性を探究しています。				
研究業績	【論文】(査読あり) 藤永綾乃 2017「ショーペンハウアーにおける「共苦」と「意志の否定」との関係」、『同志社哲学年報』第40号、58-74頁。 藤永綾乃 2020「ショーペンハウアーにおける責任と共苦——カントの「叡知的性格」受容を手掛かりに——」、『倫理学研究』第50号、86-98頁。 【口頭発表】 藤永綾乃 2016「「共に苦しむ」ことが持つ倫理的価値について——ショーペンハウアー倫理学の探究——」、Societas Philosophiae Doshisha2016年度大会(於同志社大学) 藤永綾乃 2018「ショーペンハウアーにおける「叡知的性格」概念の変容——カントからの継承と離反——」、関西倫理学会2018年度大会(於京都女子大学) 藤永綾乃 2019「個性の原型としての自由——ショーペンハウアーにおける「独自のアイデア」と「叡知的性格」の問題——」、Societas Philosophiae Doshisha2019年度大会(於同志社大学)				
所属学会	Societas Philosophiae Doshisha(同志社哲学会)、関西倫理学会、日本ショーペンハウアー協会				
キャリア関連					
志望進路	教員(大学、高校等)、研究員(研究機関、企業)				
進路					
自己PR	ショーペンハウアー哲学において考えられる意味での「自由」からは、昨今、自分を含む誰かを攻撃するために用いられがちな「自己責任」の論調とは異なる「責任」概念が見えてきます。ショーペンハウアーにおけるそのような「責任」概念の現代的意義を探究しています。				
取得資格等					

※メールアドレスの(a)は@を表しています